

インフルエンザ予防接種・新型コロナウイルス感染症 予防接種における60歳～65歳未満の対象者の 取り扱いについて

60歳～65歳未満の者であって、一定の心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する者を対象とします。なお、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害の程度は、次のいずれかに該当するものであることとします。

接種対象者として認められる場合は、予診票の医師記入欄に項目番号を記入することで対象者の確認としますので、該当者は必ず理由番号及び記号を記入して下さい。

<記入例>

医師記入欄	以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は（可能・見合わせる） ＊ 60歳～65歳未満の方は接種対象者の理由を記入して下さい。 <例> 心臓機能障害でアのa bの二所見がある場合 <u>(1-ア-ab)</u> 医師署名
-------	---

1 心臓機能障害

- ア 次のいずれか二以上の所見があり、かつ、安静時又は自己身の日常生活活動でも心不全症状、狭心症症状又は繰返しアダムストークス発作が起こるもの
- a 胸部エックス線写真所見で心胸比0.60以上の者
 - b 心電図で陳旧性心筋梗塞所見があるもの
 - c 心電図で脚ブロック所見があるもの
 - d 心電図で完全房室ブロック所見があるもの
 - e 心電図で第二度以上の不完全房室ブロック所見があるもの
 - f 心電図で心房細動又は、粗動所見があり、心拍数に対する脈拍数の欠損が10以上のもの
 - g 心電図でSTの低下が0.2mV以上の所見があるもの
 - h 心電図で第1誘導、第2誘導及び胸部誘導（ただしV1を除く）のいずれかのTが逆転した所見があるもの
- イ 人工ペースメーカーを装着したもの又は人工弁移植、弁置換を行ったもの

2 腎臓機能障害

腎臓機能検査において、内因性クレアチンクリアランス値が10ml/分未満、又は、血清クレアチン濃度が8.0mg/dl以上であって、かつ、自己の身の日常生活活動が著しく制限されるか、又は血液浄化を目的とした治療を必要とするもの若しくは極めて近い将来に治療が必要となるもの

3 呼吸器機能障害

予測呼吸量一秒率、動脈血ガス及び医師の臨床所見により、呼吸困難が強い歩行がほとんどできないもの、呼吸障害のため予測肺活量一秒率の測定ができないもの予測肺活量一秒率が20以下のもの又は動脈血O₂分圧が50Torr以下のもの

- * 予測肺活量一秒率とは、一秒量（最大呼気位から最大努力下呼出の最初の 1 秒間の呼気量）の予測肺活量（性別、年齢、身長に合わせて正常ならば当然あると予測される肺活量の値）に対する百分率である。

4 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害

ヒト免疫不全ウイルスに感染していて、次のいずれかに該当するものをいう。

- ア CD四陽性Tリンパ球数が $200/\mu\text{l}$ 以下で、次の項目（a～l）のうち六項目以上認められるもの
- a 白血球数について $3,000/\mu\text{l}$ 未満の状態が4週間以上の間隔をおいた検査に連続して二回以上続く
 - b Hb 量について男性 12g/dl 未満、女性 11g/dl 未満の状態が四週以上の間隔をおいた検査において連続して2回以上続く
 - c 血小板数について $10\text{万}/\mu\text{l}$ 未満の状態が四週以上の間隔をおいた検査において連続して二回以上続く
 - d ヒト免疫不全ウイルス-RNA 量について $5,000\text{コピー}/\text{ml}$ 未満の状態が四週以上の間隔をおいた検査において連続して二回以上続く
 - e 一日一時間以上の安静臥床を必要とするほどの強い倦怠感及び易疲労が月に七日以上ある
 - f 健常時に比し10%以上の体重減少がある
 - g 月に七日以上の不定の発熱（ 38°C 以上）が二ヶ月以上続く
 - h 一日に三回以上の泥状ないし水様下痢が月の七日以上ある
 - i 一日に二回以上の嘔吐あるいは30分以上の嘔気が月の七日以上ある
 - j 口腔内カンジタ症（頻回に繰り返すもの）、赤痢アメーバ症、带状疱疹、単純ヘルペスウイルス感染症（頻回に繰り返すもの）、糞線虫症及び伝染性軟属種等の日和見感染症の既往がある
 - k 生鮮食料品の摂取禁止等の日常生活上の制限がある
 - l 軽作業を超える作業の回避が必要である
- イ 回復不能なエイズ合併症のため介助なくしては日常生活がほとんど不可能な状態のもの